



2025年5月9日

会社名 株式会社ゼネラル・オイスター
代表者 代表取締役社長 渡邊 一博
(コード番号 3224 東証グロース)
問合せ先 経営管理本部 部長 川邊 英樹
(03-6667-6606)

特別損失（減損損失）の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年3月期（2024年4月1日～2025年3月31日）の決算において、下記のとおり特別損失を計上する見込みとなりましたのでお知らせいたします。また、当該特別損失及び最近の業績動向等を踏まえ、2024年5月15日に公表しました連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の計上について

2025年3月期において、当社グループが保有する店舗及び機械設備について減損の兆候が認められることから、当該固定資産に係る回収可能性を検討した結果、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理を行い、減損損失67百万円を計上することとなりました。

2. 特別損失の計上について

2025年3月期において、2024年11月20日付け適時開示「当社と株式会社ネクスタ（ネクスタ匿名組合営業者）の間における合意解消及び指名・報酬委員会設置に関するお知らせ」にてお知らせしました、合意解消に対応するための臨時的なアドバイザー等費用として、5百万円を計上いたしました。

3. 業績予想の修正

2025年3月期通期連結業績予想数値の修正（2024年4月1日～2025年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,150	百万円 189	百万円 185	百万円 130	円 銭 32.28
今回修正予想 (B)	3,926	3	2	△12	△2.91
増減額 (B-A)	△1,222	△186	△183	△126	

増減率 (%)	△23.7	△98.4	△98.9	△96.9	
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	3,790	16	29	△95	△23.70

4. 業績予想の修正の理由

店舗事業において当第4四半期連結会計期間においてノロウイルスによる食中毒等の感染が発生し、一時的に稼働率が低下したことに加えて、将来に向けたスクラップ&ビルド（2店舗出店、1店舗退店）や業態変更（1店舗）を実施したこと等による営業コスト負担が増加したことに加えて、加工事業において採算が悪化したこと、再生可能エネルギー事業において、収益計上時期が来期にずれ込んだこと等が影響し、営業利益・経常利益が当初計画から減少に転じました。

また、2024年11月14日開示「子会社株式売却益（特別利益）の計上のお知らせ」のとおり、2025年3月期第2四半期連結累計期間におきまして、特別利益として子会社売却益42百万円を計上しておりますが、今般「1.特別損失（減損損失）の計上について」及び「2.特別損失の計上について」に記載のとおり、特別損失を計上することにより親会社株主に帰属する当期純利益についても前回予想を下回る見込みです。

※本資料に記載の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上